

【消防庁】危険物施設におけるタンク及び配管等の腐食等劣化に対する評価・診断手法

課題の背景

近年の危険物施設における流出事故について、物的要因のうち約7割が設備の腐食等劣化によるものである。このうち、目視等による腐食等劣化の評価が困難な地下に埋設されている地下タンクや地下埋設配管、地上に設置されている保温配管等からの流出事故を未然に防ぐには、実用可能な腐食等劣化に対する評価・診断手法の開発が必要である。

求められる要件(機能要求・関連基準等)

目視等による腐食等劣化の評価が困難な地下に埋設されている地下タンクや地下埋設配管、地上に設置されている保温配管等に関する実用可能な腐食等劣化に対する評価・診断手法の実用化。

※可能な限り、早期に成果達成されることが望ましい。